

# 山口市(中国ブロック)

【2期 計画期間 平成26年4月～32年3月】

室町～：周防・長門守護職の大内弘世が、山口盆地に京都を模したまちづくりを実施  
 明治～：幕末に藩庁が萩から山口に移り、明治維新の策源地及び県政の中心地となる  
 ～現在：人口約19万5千人、面積約1,023km<sup>2</sup>、豊かな自然と大内文化等を有する魅力ある都市として発展

## 【1期計画の概要】

○歴史文化、芸術文化、自然、都市景観などの豊富な地域資源を活かしながら、中心部において商業・サービス機能の拡充を図り、親しみのある暮らしやすいまちづくりに取り組んだ。  
 (計画期間：平成19年5月～25年3月)

## 【中心市街地の変化】

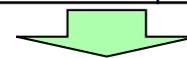
○中心市街地の西の核である「どうもんパーク」や東の核である「マルシェ中市」「和楽の咲都」の整備、市道美装化や電線類地中化等により、「2核十字型モール」構想の実現に前進。  
 ○借上型市営住宅の整備や民間マンションの供給が順調に進み、居住人口は増加。  
 ○一方で、景気低迷や相次ぐ郊外店の立地、中心商店街における大規模火災等の影響から商店街通行量と小売業年間商品販売額は伸び悩む。第2期計画では、回遊性の向上、滞在時間の増加、土地の高度利用等の課題に重点的に取り組む。

## 【目指す中心市街地像】

○都市機能の集積を促進しつつ、既成市街地の再編・再生を図る。

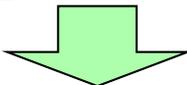
## 【1期計画の目標指標】

目標	指標	基準値(H18)	目標値(H24)	最新値(H24)
自然と文化に彩られた人々を惹きつける魅力ある中心市街地の形成	商店街通行量(休日・10地点)	54,252人/日	56,000人/日	54,411人/日
	小売業年間商品販売額	10,731百万円(H15)	11,000百万円	9,953百万円
自然と文化に彩られた誰もが住みたくするような中心市街地の形成	居住人口	3,968人	4,200人	4,306人



## 【2期計画の目標指標】

目標	指標	基準値(H24)	目標値(H31)
まちに来る人を増やし、楽しんでもらう	商店街等通行量(休日・11地点) <span style="background-color: #90EE90;">地点追加</span>	55,294人/日	58,000人/日
	滞在時間(1時間30分以上の割合) <span style="background-color: #FFD700;">参考指標</span>	43.6%	50%
まちの新陳代謝を図り、活力を高める	中心商店街の空き店舗数 <span style="background-color: #90EE90;">新規</span>	45店舗(H25.6)	30店舗
まちの定住人口を増やす	居住人口の社会増減 <span style="background-color: #90EE90;">新規</span>	168人増(H20～24)	250人増(H26～31)



まちに来る人を増やし、楽しんでもらう

まちの新陳代謝を図り、活力を高める

まちの定住人口を増やす

### 【主要事業】

- ・一の坂川周辺地区整備事業  
 (地域生活基盤施設、高質空間形成施設整備事業、地域創造支援事業)
- ・中心市街地情報提供事業

など

### 【主要事業】

- ・あきないのまち支援事業
- ・まちなかサポートセンター事業
- ・「オアシスどうもん」交流サロン事業

など

### 【主要事業】

- ・中市町1番地区優良建築物等整備事業
- ・米屋町東地区優良建築物等整備事業
- ・山口駅前地区住宅市街地総合整備事業

など

